

11月2日(日)

色々なネタ
ご用意しております

親バイキング
1貫 100円(税込)~

11月3日(月・祝)

限定100匹

ノルウェー産

特大塩さば
1匹 1,580円(税込)



西田鮮魚店
072-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

朝晩の冷え込みがきびしい季節になりましたね。体調崩さないようにしましょうね！
さて今回の広告は、大人気の寿司バイキングが日曜日、祝日月曜日は特大塩さばを販売致します。
3回目になるバイキングは、好きなネタをお好きな数だけ頂けるから人気です。こういうのして欲しかったお客様からお声かけ頂き、やって良かったです！とスタッフ一同喜んでいきます。今回もとびきりなネタをご用意し、お待ちしております。
月曜日は、広島県では自店のみの、特大ノルウェー産塩さばを販売致します！
どこにも渡したくない自分の強い思い、庄原の皆様にも喜んでもらいたい！という一心で全量仕入れ致しました！
脂のノツた塩さばを焼いたり、しめさばにしてみてください。
ふるさと祭りも各地であると思いますが、沢山のご来店スタッフ一同お待ちしております。

『10月26日 日曜日の私』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



I 大谷と山本と朗希を応援する私
大谷翔平だけじゃなくなった。山本由伸^{ユシノブ}に加え10月は佐々木朗希^{ロウキ}まで応援しなくてはいけなくなった。忙しい。でも私だけじゃないらしい。こんなのは。

明日からブルージェイズとのワールドシリーズが始まるという金曜日、ヘアサロンヨシタカに髪を切りに行った。

いすに座り、ケープ（あのエプロンみたいなものをこう呼ぶらしい）をかけてもらいながら、これから伝説になるだろう、あの試合の話をした。

「大谷すごいよね。三振10個とって、ホームラン3本」

「見れなかったんよね、仕事で。ええねえ暇^{ひま}で」

気にしていることを言う。まあホントだから仕方ない。73才だ。それもいいじゃろ。でも、考えてみれば、朝から野球を見れる人間がそうたくさんいるとも思えない。

そういえば篤生^{アキオ}はビデオにとっておいて、夜見るのだと言っていた。だいぶ前になるが、私がベラベラと試合の結果を話して叱^{しや}られた。「帰ってから見るんじゃないって黙^{もく}つといてくれ」と。そんな人、多いんだろ。うな。ごめん、ごめん。

とはいえ、私みたいな暇人^{ひまじん}もけっこういるようだ。

悦子が言っていた。「大谷の試合見るのはいいんじゃないけど、もうちょっと静かに見てほしいと友達がこぼしとった」と。どうやら、その友達のご主人は、大谷が打てば打ったで、三振したら三振したで、いちいちうるさいらしい。それは、わかる。私も、打ったら「ようやった」と手をたたいて叫^{こゝろ}ぶし、ランナー三塁で三振したら「ここで打たにゃ!」とぶつぶつ言う。

それが朝の日課。仕事してるみんなには申し訳ないが……。

II ワールドシリーズ第2戦を見る私

この日もそうだった。

ワールドシリーズ第2戦。前日はブルージェイズに4対11で大敗。大谷はツーランホームランを打ったが焼け石に水。おかげで夜の『ワースポMLB』も見ることなく早く寝た。もうこのまま4連敗するような気がして心がふさいだ。一日中、自分でも信じられないが、ほんとに心がふさぐのだ。『大谷うつ（病）』だ。もちろん逆もある。10奪三振、3ホームランの時は一日中機嫌がよかった。心が晴れやかだった。『大谷晴れ』だ。

で、この日。先発は山本。立ち上がりこそ不安定だったが、回を追うごとにバツバツと凡打の山。素晴らしい。大谷が打たなくても気にならない。

二階の部屋を見た。頻尿^{ひんにょう}の気がある私は、ほぼ1・5イニングごとにトイレに行く。二階のトイレは立って用をたすなと、きつく言われているので小便器のある下のトイレに行く。

III 山本に胸ふるわす私

キッチンを通るとき、流しに水が張られたボールに栗が浸かっているのが見えた。傍^{かたわら}らの大皿に皮をむいた栗が5、6個。そういえば青山のお母さんが栗を持って来られていた。なんでも裏山で孫の誉^{ほまれ}といっしょに拾ったのだそうだ。ふと見ると、横の台にもち米の袋。「そうか栗おこわか」と思いながら用をたしてまた二階へ。

何回か往復したが、なかなかむいた栗が増えない。掃除をしたり買い物に出かけたり、忙しく立ち回るついでにむいているみたいだ。悦子は忙しい。私は山本の応援に忙しい。

試合はスミスとマンシーがホームラン。大谷もヒットを打ち5対1でドジャースが勝った。なにより、山本のカーブが冴^さえた。2試合続けての完投勝利。最後のバッターをサードフライに打ち取ったときは拍手して「よっしゃあ、ようやった!!」。私の胸がふるえた。

勝った時は、放送が終わりきるまで見る。負けた時はゲームセットと同時にチャンネルを変える。

この日は、もちろん最後まで。山本のインタビュに、そうかそうかとうなずき、解説の田口がゲームを振り替えるのを聞き（田口の解説が的^{てき}を射^やってて感心した。さすがだ）、放送が終わるのを確認してテレビを消した。

12時を回っていたので昼ご飯に下りた。皮をむいた栗が、だいぶ増えてはいたが、まだ3分の2は水の中。これは手伝わんといけん。

山本の快投に気をよくしていた私は「皮むきを手伝うよ」と悦子に告げた。実は、私は栗の皮むきなどしたことがない。もちろん、いくつかむきながら食べたことはある。でも、こんなにたくさんさんの栗をむいたことはないし、むこうと思ったこともない。この日は特別だ。山本のおかげ。

さあ、その前に、とりあえず腹ごしらえだ。

10月に入って、二人とも炭水化物は極力^{ごくりき}とらないことにしている。ただ、麺^{めん}がひと玉、冷蔵庫に眠^{ねむ}っているという。賞味期限が切れるのはもったいない。それを片付けようというので、ひと玉を分け合って焼きそばを作ってくれた。だがやっぱり麺が半玉では物足りない。でも我慢だ。この我慢がいい。なんか、がんばってる感がある。ぺろりと食べて、さあ皮むきだ。

IV 栗の皮をむく私

カウンターの挟^{くさ}んで悦子はキッチン側に立ち、私はその真向かいの椅子に腰かける。悦子にむき方を教わり作業開始。中には、ちっちゃいものが混^まじっている。「これは誉^{ほまれ}が拾ったんじゃないのう」。小学一年生の孫がおばちゃんと栗拾いに興^{きょう}じる姿を思い浮かべながら手を動かす。

なかなかむずかしい。クリッとむけた時は気持ちいいが、たいていは渋皮^{しぶかわ}が残る。だんだん親指の先が痛くなる。私の親指の爪はどんぼうだからいい。でも悦子は日頃から爪の手入れに余念がない。栗の皮むきはかわいそうだ。しかし、黙々とむく。えらいなあ。ふと田部さんの顔が浮かんだ。栗の皮むき器をもっていると言っていた。あつという間にむけますよと。しかし、もう遅い。それでも一時間かかったろうか無事終わった。「手が多ければ早いね」と言ってくれた。ふだん家事はなにもしない私だ。少しばかりうれしかった。むいた栗をはかりにかける。800グラムあった。

V 『ワースポMLB』を見る私

栗をむくのを手伝おうと思ったのは、山本のおかげだ。大谷にしても山本にしても最近^{さいきん}は佐々木もだが活躍してドジャースが勝てば気持ち前向きになる。悦子のためにもがんばってほしいものだ。私のまわりには、そんな人がけっこういる。つくづく思う。なんでこんなに……。

元気のついでに庭の草取りをした。雨が降り始めたので5時前にやめた。たいして進まなかったが、それでも気持ちいい。いい日曜日になった。山本君、大谷君ありがとう。

日曜日の『ワースポMLB』は9時からだ。ひさしぶりに『べらぼう』を見て待った。ところが9時になっても始まらない。阪神とソフトバンクをやっている。ソフトバンクが10対1で勝っている。9時15分になってそちらはBS2に移り、『ワースポMLB』は始まった。昼間見たゲームをまた……。またまた思った。なんでこんなに……。

このチラシが折り込まれるのは11月2日。もしかして、この日、第7戦が折り返されるのは11月2日。もしかして、この日、第7戦が戦われている?

どちらにしても、朝の大谷ウォッチングは来年3月までない。遅ればせながら、読書の秋にしようか。

2025年11月2日